

アンリツ株式会社

2026年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: FY2026の通信計測事業における営業利益計画165億円の背景は？

A1: DC関連売上好調を見込んでガイダンスを165億円としました。

Q2: 1.6TE関連の受注状況とCPO対応は？

A2: 1.6TE光トランシーバー向け計測器の受注は増加傾向にあります。CPO用測定器は今後開発を進め、タイミングを逃さず製品投入予定です。

Q3: データセンター向けのキャパシティ増強や地域別需要は？

A3: 受注状況に合わせてキャパシティを増強中です。製造向け需要は米国、中国、その他アジアからが中心で、日本は保守関連の需要に留まっています。

Q4: 産業計測分野の戦略やラインナップ強化策は？

A4: 他社との提携やM&A、自社開発を通じて、汎用測定器のラインナップ拡充を進めていきます。あわせて、通信分野以外の市場への展開も図っていきます。

Q5: 宇宙関連ビジネスへの取り組みは？

A5: 汎用計測器は、通信分野に加え、宇宙関連分野への展開も視野に入れています。既に、買収したDEWETRON社の製品が米国アルテミスII計画など、宇宙関連の用途で採用実績があります。